



336-A-1R-3Z

**MATSUYAMA
SHIRASAGI
LIONS
CLUB**

松山白鷺ライオンズクラブ会報

しらすぎ



内子町 小田深山溪谷

Vol.24 No.2 2015 November

2015～2016年国際会長

山田 實紘

国際会長テーマ

『 命の尊厳と和 』



ライオンズクラブ国際協会336-A地区

ガバナー 橋本 充好

ガバナー・スローガン

『「感謝」「感動」「感激」の

気持ち、心で We S e r v e』

ガバナー・キーワード

「 入魂 」



松山白鷺ライオンズクラブ

会長 宇治田 美福

会長スローガン

『今日も笑顔で We S e r v e』



4ヶ月を終えて



会長 宇治田 美福 10月第2例会

会長に就任して、4ヶ月が過ぎました。この間に、二つの柱である「環境ビジョン」と「青少年育成ビジョン」の大きな事業である一つの柱、青少年育成国際関係委員会の“松山白鷺ライオンズカップ少年少女空手道選手権大会”を成功に終えることが出来ました。又、保健福祉委員会の献血事業も大街道献血ルーム始まって以来、最多の献血参加者数295名という実績でした。そして、新入会員も現時点で正会員8名の入会が確定しており、私の今期の目標である設立時の71名という会員数も、僅か4ヶ月で達成させて頂く事ができました。私たち、松山白鷺ライオンズクラブのチームワークの良さ、親切心と協力心は本当に素晴らしく誇りに思います。皆様のお陰だと、深く感謝いたしております。ありがとうございます。今月には、計画財務委員会のチャリティ ゴルフ大会、そして3月にはもう一つの柱である環境保全委員会の“We Love 石手川”と保健福祉委員会の第二回目の献血事業を予定致しております。引き続き、メンバーの皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



9月6日 1R-地区ガバナー公式訪問



7月第2例会



9月第1例会



9月第2例会



第1副会長 梅林 哲次

7月よりスタートした24期、宇治田会長の公約である‘チャーターメンバーの71名にする’を目標に会員増強に努め11月の2名入会で念願を達成することができました。今の白鷺LCは非常にいい雰囲気だと思います。例会出席はもちろんのこと、献血、チャリティゴルフの動員でも、担当委員長が調整をしなければならぬくらいうれしい悲鳴を上げるほどです。会員の皆様、ご協力ありがとうございます。今回、入会された新入会員の皆様、特に若い方は、例会、委員会の出席が億劫と感じる時もあるかと思います。しかしながら目いっぱい仕事をした後の息抜きと考えれば、また明日からの仕事の活力になります。ご一緒にライオンズライフを楽しみましょう！



松山白鷺ライオンズカップ少年少女空手道選手権大会

青少年育成・国際関係委員長 和氣 成暢

2015年8月23日、県武道館において「第11回松山白鷺ライオンズカップ少年少女空手道選手権大会」が開催されました。松山白鷺ライオンズクラブとしてスタートの事業であり、青少年育成国際関係委員会としてもメイン事業であります。例年通り、準備期間の短い間でしたが、当委員会メンバーと共に密度の濃い打ち合わせをかさね準備してまいりました。昨年好評であったオープニングムービーをバージョンアップさせ放映し、すばらしい開会式になったと思っております。本年度は、マスコミ関係者の取材も多く(南海放送、あいテレビ、CATV、愛媛新聞)大会の注目度も年々増してきていることを実感しました。

参加人数は、選手210名、関係者150名、保護者等200名と計560名になっております。本年度は外国人選手に多数ご参加いただき、ラトビア選手団15名(選手7名、保護者8名)、デンマーク選手団6名(選手4名保護者2名)と計21名となり、子供たちにとって本当に良い国際交流の場になったと感謝しております。



大会会場



受付風景



開会式風景



来賓挨拶
POINT & K. O.
ルール協会
理事長 立崎 辰雄様



来賓挨拶
愛媛県副知事
仙波 隆三様



大会会長挨拶
会長 宇治田美福



審判宣誓



選手宣誓
松山市立新玉小学校
市村 海心さん



デンマーク選手団の皆さん



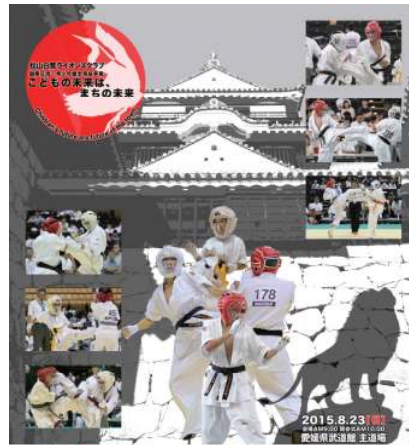
ラトビア共和国選手団の皆さん



ルール説明風景



試合風景



POINT&K.O. 西四選抜
第11回松山白鷺ライオンズカップ
少年少女空手道選手権大会

愛媛新聞
掲載許可番号G20161001-02319



閉会宣言
第2副会長
北川 憲一

大会総評
POINT&K.O.ルール協会
西村 和之 先生



表彰式
POINT&K.O.ルール協会
会長 佐藤 勝昭



鋭い突き・蹴り白熱
松山空手大会に子ども20人
第11回少年少女空手道選手権大会（松山白鷺ライオンズクラブ主催）が、試合学年・男女別の19回、トヨタ市市民会館の武道道場（NT方式）で行われた。市市民会館を中心とした小学生から高校生まで約210人が出場し、熱戦を繰り出した。会場には約200名が観戦し、国際交流の目的に、

男子の部
小学1年 久保大路 松山市北条小 佐々木健良
小学2年 藤元 藤元空 山手北小 同3年 藤原 勇太（愛） 松山南小 同4年 エリス サワノフス（アール） 市村海心 松山南小 同5年 船山 船山 同6年 船山 船山 同7年 船山 船山 同8年 船山 船山 同9年 船山 船山 同10年 船山 船山 同11年 船山 船山 同12年 船山 船山 同13年 船山 船山 同14年 船山 船山 同15年 船山 船山 同16年 船山 船山 同17年 船山 船山 同18年 船山 船山 同19年 船山 船山 同20年 船山 船山





8月第2納涼例会&海外選手団ウェルカムパーティ 8/24

計画・財務委員会 委員長 長島 真穂

白鷺ライオンズの夏の一大事業の「空手大会」の翌日に行われますのが「納涼例会」。

計画財務委員会として一週間程前から景品の買い出しに奔走し、当日は宇治田会長と共に浴衣で皆様をお迎えさせて頂きました。

今年の景品一等賞は三越で購入しました桐箱入りの男性用のお扇子。黄土色の生地に、少し濃い目の茶色で描かれた「鳥獣戯画」の絵柄です。私が持ちたい位のわびさびなお品でした。

お若い外国の方が持たれても、日本感満載で良いかなと選ばせて頂きました。あれやこれやと悩んだ割には「???」が残ってしまったり至らぬ所もあり、皆様にかけて頂いて感謝しております。

次は「忘年例会」です。宜しくお願ひ致します。



会長挨拶 会長 宇治田 美福



挨拶 第1副会長 梅林 哲次



ビンゴゲームで盛り上げた司会の西原さんと浴衣すがたの長島委員長



ライオンテーマの原田さんは大忙し



ラトビアのイケメンな空手マン達



お疲れ様でした。青少年委員会の皆様



挨拶 和氣委員長



はるばる日本へ ようこそ!



3ヶ国の国旗を背に 会員・出席 岩田委員長



挨拶 第2副会長 北川 憲一

一仕事終えて満足顔の面々

世界平和を願って3カ国で we are the word





例会風景 9/3.9/17.10/1.10/15

9月第1例会



田之内さん ご結婚
おめでとうございます

9月第2例会

モナークシェブロン贈呈
宇都宮 真由美さん
15年在籍

北川 憲一さん
10年在籍

山本 正聡さん
10年在籍



10月第1例会

国際平和ポスター応募作品
愛媛大学教育学部附属中学校

杉野 記才子さん

竹中 瑞穂さん



10月第2例会 ガバナー訪問



1R-RC 友澤 節男 様



1R-1ZC 村井 淳子 様



1R-2ZC 古市 文子 様



1R-3ZC 藤岡 明 様



新 入 会 員 紹 介



重松 純

9月17日 入会

この度は、9月に入会させていただきましたシゲマツ内装の重松純と申します。仕事は、住宅やマンションの内装仕上げの仕事に携わらせて頂いております。現在は仕事も形になってきており、これからは様々な方と交流して幅広い仕事へ進ませたいと思っています。そのためにも早くライオンズクラブの方々との交流を深めて、日々勉強させていただきながら自分の視野を広げていきたいと思っています。そして、スローガンの「今日も笑顔で We serve」を心に秘め、楽しみながら活動していきたいと思っています。まだ右も左もわからない私ですが、皆様のお助けとご指導を頂きながら、自分にできることを精一杯努めて参りたいと思いますのでご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



田中 俊成

9月17日 入会

皆様のお仲間に加えて頂きましたことを誠に感謝申し上げます。あわせて新たな道の一步を踏み出させる喜びを光栄に感じております。時間の作り方、使い方を有意義なこととし、未熟ながらも諸先輩方を見習い伝統ある白鷺ライオンズクラブの一員であることの誇りを胸にその一端を担える確実な足跡を残したいと思っております。若獅子として力一杯吠えていきますので、どうぞよろしくお願い致します。



石丸 寿夫

10月15日 入会

伝統ある松山白鷺ライオンズクラブに入会させて頂きましたことに今は正直重圧を感じております。うっかり者の私が多大なご迷惑をお掛けすることなく、皆様と末永い御付き合いができるだろうか、今は分からない事ばかりで不安でなりません。しかしながら私自身開業20年目にあたる記念の年にスポンサー永井俊昭様の御尽力を賜りましたことは、この入会が御褒美であるようにも感じており、新たな活動に胸躍らせている気持ちもございませう。一生懸命頑張りますので、どうか皆様のご指導ご鞭撻を心からお願い申し上げます。





穂山 泰伸

10月15日 入会

この度、歴史ある松山白鷺ライオンズクラブに入会させて頂いた社会保険労務士の穂山(あきやま)と申します。スポンサーである梅林 哲次様をはじめ皆様のお力添えによりこのような機会を頂いたことを光栄に思います。個人的には約10年前に独立開業した時のような初心を忘れず何事にもチャレンジする気持ちそして謙虚に日々精進する気持ちを持ち続けたいと思います。まだ右も左もわからず具体的な内容については、これから勉強していく所存ですが、どうか先輩ライオンズの皆様、温かい目で見ると幸いです。今後とも、ご指導の程宜しくお願い致します。



田中 浩彦

10月15日 入会

この度、松山白鷺ライオンズクラブに入会しました田中浩彦です。愛媛銀行本町支店に勤務しております。「白鷺の住めるまちづくり」「人と自然との共生」という基本理念をよく理解し、皆様のお力を借りながら少しでもこの街の発展に役立つことができるよう全力で取り組んで参ります。そして社会奉仕活動や会員の皆様との交流を通じて、自分自身の成長に大きく役立てることができる素晴らしい機会を与えられたと思っております。未熟ではございますが、先輩方に迷惑をかけないように頑張りますので、今後ともご指導いただきますようどうかよろしくお願いたします。



森 史規

10月15日 入会

会員のみなさ～ん、はじめまして！この度、松山白鷺ライオンズクラブに入会させて頂きました森 史規でございます。これからの会の活動等、不安だらけではございますが、先輩方々にいろいろ教えを頂きながらがんばっていかうと思っております。どうぞよろしくお願申し上げます。





献血事業 9 / 28 . 9 / 29

保健福祉委員会委員長 高岡 孝一

9月28日(月)・9月29日(火)の両日、大街道献血ルームにて今期1回目の「献血事業」を実施致しました。

紹介人数205人・本人献血18人・献血受付人数295人・400ml献血206人・成分献血人数47人 *200cc換算553人

また、29日の献血受付人数163人・400ml献血人数117人は、大街道献血ルーム開設後最高記録更新を達成！以上、ご報告いたします。

メンバーの皆様のご協力のもと素晴らしい数字を残すことが出来ましたこと、心より感謝いたします。有難うございました。

反省点もいくつかありましたが、次回に反映したいと思います。



愛媛県臓器移植普及推進月間10/12

保健福祉委員会委員長 高岡 孝一

10月12日(月・祝)にエミフルMASAKIにて、出来るだけ多くの県民に臓器移植について理解と協力を頂きたく実施された「平成27年度愛媛県臓器移植普及推進月間における啓発活動」に松山白鷺ライオンズクラブ保健福祉委員会から3名のメンバーが参加しました。多くの人々が、臓器提供カード・シールを所持し、臓器提供に関する意思表示がなされるよう協力を頂く願いを込めて、11時から約1時間店舗各ゲート前で啓発物資(2000セット)の配布を行いました。

参加して下さったメンバーの皆様お疲れ様、ありがとうございました。





委員長のページ

夜会夜話(目的もなく、話をして楽しむこと) 一矢 光一さん

「僕は お酒を飲みながら話をするよ(日本酒を紙コップに注ぐ)。」
僕はライオンズ5期の入会で、周年事業10期の翌年の11期、中正隆PR委員長の時に委員となって以来、PR委員会所属が13年目になった。それまでは、会報誌は印刷会社にかなりの部分おまかせで年間70万円位使っていたと思う。そこで費用を削減せよということで手作りの会報誌を作るようになったんだ。
“見て楽しい会報誌”要は写真を多く載せた会報誌を作るようになったのだが、結局この年は1回しか発行できなかった。当時メンバーの玉井さんが「ラベルマイティ」で作った旅行のチラシを見て、これならいけると思って使い始めた。それから年4回発行できるようになった。



13期と17期に委員長をやったが、本当に色々なことが暗中模索だった。取材、原稿依頼、文章作成、レイアウト、校正、中でも一番大変だったのはインクジェットプリンターでの印刷、手分けしても、これには3日間程掛かった。朝の2時3時までやった事もある。プリンターは壊れるし、本当に120冊作るのが精いっぱいだった。

発刊前、僕の家で委員会メンバーが集まり、製本作業、これはハプニングありで楽しかった。



15周年記念誌では玉井さんが会員の似顔絵イラストを作って好評だった。表紙だけを印刷屋さんへ依頼した時期もあったが、18期から今のように、委員会で作った原稿を印刷屋さんで印刷と製本するようになった。



手作りは本当に大変だったけれど、楽しかった。会員の皆さんが会報誌を手にしたときの顔を想像しながら作業に励んだ。

手作りをはじめて13期で地区ガバナーズアワード会報誌優秀賞を初受賞、又、個人的には19期でライオンズクラブ国際協会環境フォトコンテストで優秀賞を頂いたのも良い思い出になった。

手作り会報誌“しらさぎ”が、影響したのか、当時、他クラブにも手作り会報誌が増えてきたのを感じた。会報誌に載せきれなかったメンバーの笑顔の写真を手元にお届けしたくて“家族例会”や“We Love石手川”の号外(写真のパンフレット)も作ったんだ。喜んで頂けたと思う。



大阪 御堂筋で撮影

子供頃から写真が好きで、駄菓子屋で日光写真を買って遊んでいたのを覚えている。
叔父のカメラ好きに感化され、小学校5年生のときカメラ(写真のカメラを取り出す)を買ってもらった。



大学では写真サークルに入ったが、大学紛争の真っ只中。学校は封鎖されてしまった。学生の真の姿を撮りたくて、飛んでくる石の中、学生闘争の写真を報道写真のように撮りまくった。このとき先輩から「一步でも前に出て写真を撮れ、被写体に近づけ」と教えられた。これは今でも写真の基本だと思って実践している。」

「写真は天分が必要だと思う。本当は目に見えない空気を撮っているんだろう。僕が写真撮影目的で

様々な所へ出かけるようになったのは、クラブで沢山の写真を撮らせられたからだと思う。
松山白鷺ライオンズクラブのおかげですね(笑い)。」

編集後記

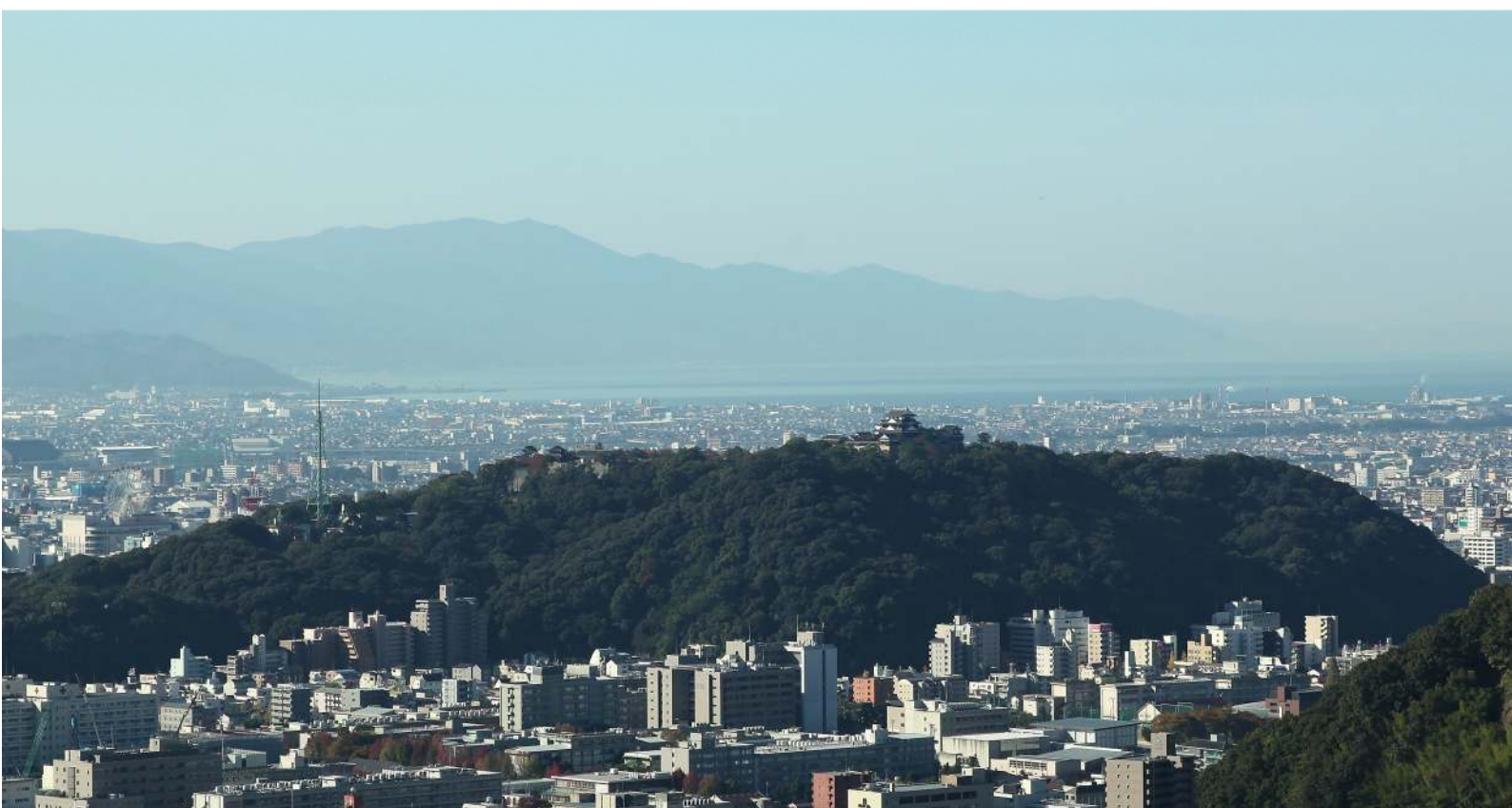
この度、一矢さんに「夜会夜話」と題して、お話を聞かせて頂きました。歴史家 磯田道史氏が「等伯は見えない空気を描いている」と評していますが、一矢さんから同じ言葉を聞いたときは心が震えました。価値は見えない中にあるのかも分かりません。今後の一矢さんのご健康とご多幸をお祈りしまして 謝意とさせて頂きたいと思ひます。 Nori

PR・IT委員会メンバー

委員長	川添 紀明	副委員長	河端 奈穂子
	田之内 貴志		一矢 光一
	金森 昭		宇都宮 真由美
	小西 亮		中正隆
	穠山 泰伸		田窪 伸次
			大谷 師津男
			新田 修敏

”白鷺の住めるまちづくり”

”子どもの未来は まちの未来”



2015. 11. 04.

松山白鷺ライオンズクラブ

例会場:松山全日空ホテル 例会日:毎月第一・第三木曜日

事務局:〒790-0001 松山市一番町4丁目1-5 ISSEIビル3F

TEL 089-913-1637 FAX089-934-3100

E-mail m.shirasagilc@336-a.org

HP-URL sirasagi@lions.qee.jp

発行:松山白鷺ライオンズクラブ(国際協会 336-A地区1R-3Z)

編集・印刷:PR・IT委員会